

令和5年度 第2回水戸市都市再生協議会(R6.2.27)における主な意見とその対応

都市再生協議会資料2
令和6年8月20日
都市計画部都市計画課

【計画目標の現状値と評価に関する意見】

No	項目	ページ	意見	対応	発言者
1	2-(1)	3	評価において、「MitoriOを核とした賑わいを創出する」と記載があるので、MitoriOの施設の利用者数も目標指標として追加すると、今より数値目標が達成しやすくなると思う。	MitoriOを核とした賑わいの効果については、MitoriOにおける各施設の利用者数も一つの目標指標となりうると考えられますが、本計画では、中心市街地全体の評価が可能である「中心市街地の歩行者通行量」を目標指標として継続して設定します。	坏委員
2	2-(1)	4	「通所施設」は送迎バスにより利用する施設であるため、距離では選ばれない。そのため、「通所施設」は誘導施設にはそぐわないと思われる。	通所施設は、高齢者の健康増進やコミュニティの場であり、誘導区域の中にあれば交通の負担が少なく通えるということで、誘導施設として設定しました。 しかし、御意見のとおり、通所施設は送迎バスにより利用する施設であり、必ずしも拠点に立地する必要がないこと等を踏まえ、今回、誘導施設としては設定しないこととします。	伊藤委員
3	2-(2)	6	増えているほとんどが市街化調整区域のエリア指定なのですが、そのまま維持していくということなのか、線引きして市街化に編入するのかという予定はあるのか。	宅地化が進む市街化調整区域における土地利用のあり方については、今後、都市計画基礎調査等を実施しながら検討していきます。	車委員
4	2-(2)	6,7	市街化区域だと約6,200人、居住誘導区域で約4,400人が減少というようになっているが、その主な要因を分析しているか。「居住誘導区域内での誘導を図るための更なる施策の推進」との記載があるので、減少の分析もあった方が良いと思う。	今回、人口動向に関する詳細な分析として、人口増加の大きい地区を抽出し、その地区の転入元を調査しました。 その結果、人口増加の大きい地区のうち、市街化調整区域の地区では、市街化区域からの転入(転居)が多いことが確認できたため(約3,500人)、これが、市街化区域(居住誘導区域)の人口減少の一因と言える可能性があると考えられます。	服部委員

【防災指針に関する意見】

No	項目	ページ	意見	対応	発言者
5	7-2-1	4	ライフライン情報に関する都市情報の重ね合わせがあった方が 良いのでは。例えば、揚水機場、浄水場、下水処理場など代表的 なものだけでも分析してはいいかがか。	各災害時におけるライフラインの確保については、それぞれの 施設の立地や構造、施設の接続状況等を詳細に確認する必要が あり、分析は困難な状況です。	小原委員
6	7-2-2-(3)	11	要配慮者利用施設は立適にどうかかわってくるのか。都市機能 の一部として要配慮者施設を洪水リスクに重ね合わせるというこ とでよいのか。	災害時における要配慮者の危険性という視点で重ね合わせを 行っており、誘導区域の検討のための参考にするものです。	田中会長
7	7-2-5-(2)	31	津波について人口が20人/haとあるが、少ないから問題ないとい うことではない。共助などの配慮ができないなど少ないがゆえのリ スクもあるのではないのか。	御指摘のように、「少ないから問題ない」と捉えられないよう、文 章表現を修正しました。	小原委員
8	7-2-6-(1)	33	3.11の時は東照宮と酒門団地で土砂崩れがあったが、ほかにど れくらいあったのか。	宮町3丁目や酒門町及び元吉田町の斜面で土砂崩れが発生 し、79世帯で避難勧告・指示が発令されました。(2011年6月6日現 在水戸市ホームページ)	羽石委員
9	7-2-7-(2)	41	液状化リスクについても反映できると良い。	建物被害のリスク分析において、地震による揺れ、液状化、土砂 災害及び火災の被害を複合的に分析されています。	羽石委員
10	7-2-8	46	図56をもっと大きくしたほうが良い。	御指摘のとおり修正しました。	鬼澤委員 (防災危機管理課)
11	7-3-3	53,54	施策については大まか書いてあるが、具体的にはどのようにな るのか。	本計画は、災害種別ごとの取組方針と施策の展開を整理するも の。施策のさらに具体的なことは、各個別計画に記載されて います。	伊藤委員
12	7-3-3	53,54	垂直避難が難しいところは、用途地域等で避難建物ができるよ うにすることもできるのではないのか。	用途地域の設定は、防災以外にも住環境の保全など様々な観 点から検討する必要があるため、慎重に検討する必要があります。	小原委員
13	7-3-3	53,54	例えば、P54、55の回避は誘導区域から外すということで良い か。 リスクが大きいようであれば区域を外すという認識でよいか。	御指摘の「回避」は、届出制度等による災害リスクの低いエリア への緩やかな誘導を意味しています。 誘導区域から外すことについては、誘導区域における災害リス クを分析し、可能な取組を整理した上で、区域の設定について検 討しました。	田中会長

14	7-3-3	53,54	冒頭部分に関連計画の施策を整理したものである旨を記載すると、「新たに施策を位置付ける」という誤解が生じないのでは。	御指摘を踏まえ、冒頭に「水戸市地域防災計画や水戸市国土強靱化計画などの関連計画を参照し、」を追加しました。	川上委員 (交通政策課)
15	7-3-3	54	耐震型循環式飲料水貯水槽について具体的に教えてほしい。マップなどはあるのか。誘導区域にはあるのか。	耐震型循環式飲料水貯水槽は、水道管内の水量や水圧の異常を感知して自動的に貯水へと切替わる機能を持った水道施設です。1日当たり1万人をカバーできる容量を備えています。誘導区域内に立地する施設として、北見町のほか、市内の小中学校など市内10カ所に設置してあります。貯水槽の位置を示すマップはありませんが、ホームページで住所等は確認できます。	羽石会長
16	7-3-3	54	循環式飲料水貯水槽というのは、そこから給水車などで、市民の皆さんのところに持って行くのか。そうであれば、必ずしも誘導区域内に無くても良いのではないのか。	耐震性貯水槽はその場で給水を行うものとなるため、誘導区域内に設置した方が効果が高いと考えます。	田中会長
17	その他 (区域の検討)		誘導区域の検討に当たり、リスクが大きくて危ないのか、リスクを低減できるから問題ないのか、区域をどこで切ればよいのか等を判断できるような案を示してほしい。	今回、浸水深別に浸水想定区域を示して誘導区域内の災害リスクの確認を行い、避難体制や減災対策を整理し、誘導区域の設定が適正かどうか判断していただけるような資料作りに努めました。	田中会長
18	その他 (避難情報)		警戒レベルに応じた指針などをつくるのか。	防災指針で想定しているのは想定最大規模におけるリスクであり、各警戒レベルの考え方については避難計画や防災計画で整理しています。	服部委員